

MANGA 京都国際 THE MANGA MUSEUM

私たちが慣れ親しんでいる身近な大衆娯楽、「マンガ」。その国内市場規模は年間5000億円を超える大きなものです。そして現在、日本のマンガは国内だけでなく、世界中で広く受け入れられています。その人気は、日本のマンガが他の外国コミックと区別され「MANGA」と呼ばれる点にも見受けられます。マンガはいまや文化・経済など、様々な方面で重要な位置を占めているのです。

2006年11月、そんなマンガ文化について改めて考えることのできる施設が京都に誕生しました。その名も「京都国際マンガミュージアム」。ここでは日本のマンガについての豊富な知識を得ることができます。皆さんも一度足を運び、私たちの誇るべきマンガ文化を見直してみませんか？
(米)

M 京都国際マンガミュージアムって？

マンガの起源ともされる「鳥獣戯画」をはじめ、多くの絵巻物が伝わる地・京都に開設された日本初のマンガの総合文化施設、それが京都国際マンガミュージアムです。博物館と図書館の機能を併せもった新しい文化施設で、龍池小学校跡地に開設されました。ここではいまや世界的に注目されているマンガ・アニメーションの研究を体系的に進め、生涯学習、観光誘致、人材育成や新産業創出などへの活用を図ることを目的としています。館長はマンガに対する造詣も深い、「バカの壁」で有名な養老孟司氏です。

施設は一般公開のギャラリーゾーン、研究ゾーン、資料収蔵ゾーン、地域利便施設で構成されています。常設展示、企画展示のほか、龍池歴史記念室、ミュージアムショップ、喫茶も併設した豊富な内容をもつ施設となっています。



◀ 地下の資料収蔵ゾーン。日本マンガの歴史をたどる。



◀ 総延長約140mにおよぶ「マンガの壁」。

外装や内装は龍池小学校の雰囲気を残しています。どことなくノスタルジーを感じさせる館内は、このミュージアムのみどころ「マンガの壁」で敷き詰められています。全部で4万冊にもなるこの書架の蔵書は全て自由に閲覧可能で、数々のマンガ作品を実際に手に取って読むことができます。なお、2007年4月より販売予定の「年間利用者カード」を使用すると、この書架に入っていない残り約16万冊の蔵書も閲覧可能になります。

常設展示のほかに多彩な特別企画も予定されています。人気の漫画家、著名な文化人によるセミナーやフォーラムも継続的に開催されます。これにあたり館内入口のアンケートコーナーで一般からの意見・希望を受け付けているので、利用してみたいかがでしょうか。京都国際マンガミュージアムは外部の要望・提案を積極的に取り入れる体制が整った、まさに次世代型のミュージアムなのです。

M ミュージアムの5つの機能

1. 博物館・図書館機能

開館時には20万点、2008年までに30万点以上のマンガ資料を収集・展示し、世界一のマンガ資料総点数を誇るミュージアムとする。

2. 生涯学習機能

マンガを通じた国際文化交流、幼児・児童を対象とした学習プログラムなどの開発、地域社会に向けた講座・ワークショップの開講を行う。

3. 研究機能

所蔵資料をもとに研究をすすめ、成果を国内外に発信する。また、国内外の学術研究機関や地域施設との情報のネットワーク構築も図る。

4. 新産業創出機能

コミュニケーションツール、産業コンテンツとしてのマンガ活用モデルの研究・開発を推進し、これにより新たなビジネスモデルの創出を図る。



◀ 幼児・児童の感性を育む「マンガ図書館」。

5. 人材育成機能

これからのマンガ文化を担う研究者・専門家の養成拠点としての機能を重視し、研究者や学生の研究を支援するとともに、教育現場の要望に応じていく。

はみだし
すてーじ

ほよよ？
⇒キ

ン！

(他 ろみたん)
(んちゃ！；編)

FROM JAPAN WORLD マンガミュージアム

M 京都国際マンガミュージアム研究員・増田のぞみさんにインタビュー

—マンガミュージアム開設のきっかけは？

文化財創造や観光誘致に取り組む京都市と、従来から教育としてマンガ研究に取り組んできた精華大学の共同事業として着想されました。そこに龍池小学校跡地の提供という地元の方々の協力があり、条件が揃い開設に至りました。

—客層は？

最初はどういった世代の方が来て下さるのかまったく読めなかったのですが、年齢層は幅広く、全世代の方に来て頂いています。親子連れや、年配の方々もすごく多いですね。

—どのような点が京都「国際」マンガミュージアムなのでしょう？

今、国際的にマンガ文化の研究が求められている状況です。日本文化、とりわけ日本のマンガやアニメに関心がある海外の方へ、これらの知識を提供する場になるということが「国際」という言葉の表す意味のひとつとなっています。

—具体的な研究内容は？

一言に研究と言っても幅広く、マンガを素材に美学・社会学・心理学などの観点から色んなアプローチで取り組んでいます。

今後の課題のひとつに、歴史研究がありますね。「鳥獣戯画」などの絵巻物はマンガのルーツと言われますが、現代マンガの成立には欧米マンガの影響も色濃くみられ、そのあたりはまだ議論が必要な状況です。日本にはどんなマンガがあったのか、どんなふうに使われていたのかなど、たくさん研究テーマがあります。

—研究をどのように実用化し、産業創出につなげていくのでしょうか？

ひとつの事例として、事業内容をマンガで広報するという、企業の取り組みに協力していることが挙げられます。産業に関してはそれ以外にも、観光マップ・名所案内をマンガで作成するなど幅広いことが考えられます。



—日本のマンガはどのようにして発達したのでしょうか？

ひとつ言われているのが、青年読者層の厚さですね。欧米のマンガはハードカバーの大判、フルカラーで絵を楽しむというものが伝統的に多く、どうしても子供向け以外は大人のマニア向けのものになります。それに比べて日本のマンガはモノクロの印刷で、絵とともにストーリーを楽しむというところがあり、こういったものは幅広い層に受け入れられます。特に思春期的なテーマを扱う作品の層が厚く、世代を問わず読み続けられたことが、ひとつの要因だと考えられています。

—京大生にメッセージをお願いします。

近いところにありますので、学校の帰りにでも是非立ち寄ってほしいと思います。あとは色々提案もしていただきたいですね。ひとつのモデルケースとして授業の一環で来ていただいても嬉しいです。

—ありがとうございました。

M 特別企画

・オープニング特別企画

「世界のマンガ展」

欧米・アジアほか世界の1000冊以上のマンガと翻訳日本マンガの展示、マンガの起源とされる「鳥獣戯画」から現代に至るまでの日本マンガとメディアの潮流、さらには過去の風刺マンガ入選作品から展望する「京都国際マンガ展」の歩みなど、内容は盛りだくさんです。

会期：2006/11/25（土）～2007/1/14（日）

M データ

・入場料……大人 500円

・休館日……毎週水曜日

（水曜が休日の場合は翌日）

・開館時間……10:00～20:00
（最終入館時間19:30）

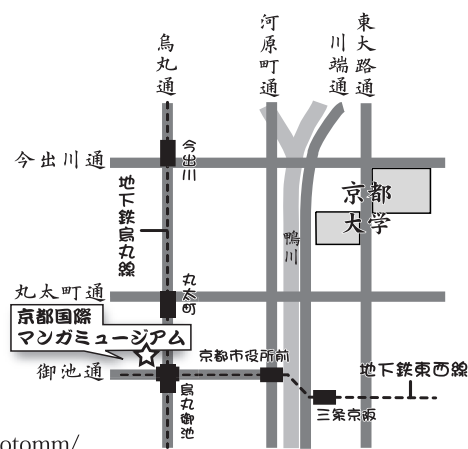
・アクセス……

京都市営地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「丸太町」駅から徒歩1分。
または京大から自転車15分。

・電話……075-254-7455

・FAX……075-241-3006

・HP……<http://www.kyoto-seika.ac.jp/kyotomm/>



はみだし
すてーじ

しよせんはオールドタイプか。
⇒たしかにもうちょっとで引退ですが……。

(工・4 yutan)
(まだだ、まだ終わらんよ！；前編集長)